

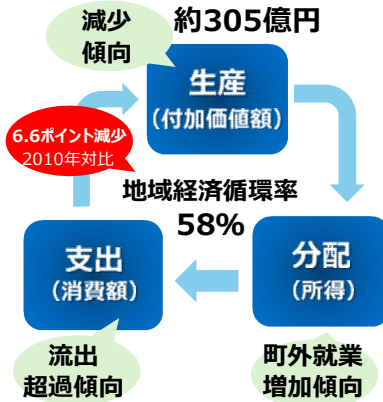
岩内町産業振興プラン 2025-2034 【概要版（素案）】

1. 現状と課題

岩内町は、人口減少等に伴い地域経済循環率が低下していると考察されます。そこで、観光客や近隣の生活圏域の消費を取り込み、生産（付加価値額）を向上させ、労働生産性の向上を図っていくことが課題です。

【岩内町の経済循環状況】

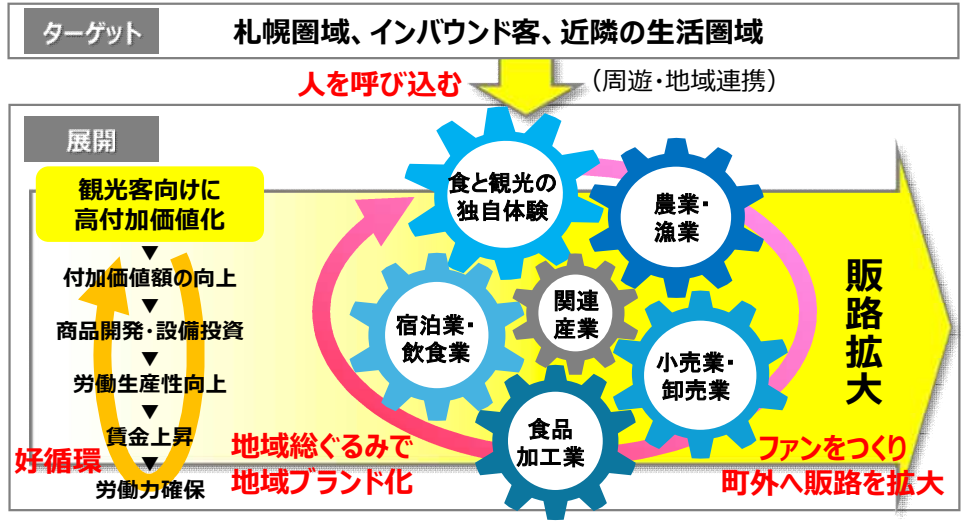
※数字は、2018年実績



区分	課題
生産	<ul style="list-style-type: none"> 観光産業を軸に各産業を活性化 後志管内での観光戦略の差別化 人材・投資原資確保へ労働生産性向上
分配	<ul style="list-style-type: none"> 労働生産性向上による賃金上昇 近隣町村・ニセコ経済圏のベッドタウンとしての移住定住促進
支出	<ul style="list-style-type: none"> 札幌圏域からの誘客 ニセコエリアからの周遊を強化 近隣生活圏域の消費の呼び込み 周遊・回遊を高め、滞在時間延長による消費額の増加

2. 戦略 ～海、山、人を活かし、食と観光で価値創造・価値提供～

岩内町ならではの地場産品や自然・歴史・文化を活かし、地域産業への関連性が高い食と観光産業の取り組みを進め、各産業が歯車のように連動しながら活性化していくことを目指していきます。



3. 基本目標とアクションプラン ～コンパクトな町を活かして選ばれ続ける港町へ～

3つの基本目標を推進させる重点事業として、海、山、街のエリア別に拠点を整備し、観光を軸に地場産業全体を活性化させ、町外への販路拡大を推進。

基本目標

「活気あふれるまちづくり」
3つの「基本目標」

- 1 人を呼び込む 食と観光
- 2 海、山、市街地の魅力づくり 各拠点整備
- 3 滞在時間を延ばし 観光消費を増加 周遊・回遊

ハードソフト事業で産業基盤を強化

9つの重点事業

極上のリゾートエリアを高度化
① 「レクリエーションの森」整備事業
② 円山エリア高付加価値化事業
周遊・回遊機能を整備
⑥ まち魅力・情報発信事業
⑦ ナイトタイムエコミー推進事業
賑わい溢れるマリンスポット創出
④ 海辺の賑わい創出事業
⑤ マリンプラン策定事業
歴史とストーリーを活かした食のまち・いわないのブランド化
⑧ ブランド産品推進
⑨ 食のまち育成事業
道の駅再整備事業
③ 道の駅再整備事業

丸山エリア
海、山 (温泉、海洋深層水) 高低差 約1,000mをもつ国定公園
自然
近江商人が拓いた江戸時代から続く営み
歴史
漁師町が育んだノスタルジックな港町
文化
岩内サーモン
市街地のランドマーク整備
道の駅 いわない

湾エリア
含翠園
いわない マリンビーチ

食
岩内サーモン
道の駅 いわない

市街地エリア
道の駅 いわない

札幌から車で約60分※1、北海道新幹線 倶知安駅から車で約30分※2

※1：高規格幹線道路延伸後、※2：北海道新幹線延伸後

4. 数値目標

宿泊観光客数		
令和5年度 (2023年度)	令和11年度 (2029年度)	令和16年度 (2034年度)
76.4千人	80.2千人 (105%)	84.0千人 (110%)

日帰観光客数		
令和5年度 (2023年度)	令和11年度 (2029年度)	令和16年度 (2034年度)
261.4千人	303.1千人 (116%)	409.4千人 (157%)

一人当たり生産 (付加価値額)		
令和2年度 (2020年度)	令和11年度 (2029年度)	令和16年度 (2034年度)
2,548千円	2,806千円 (110%)	2,915千円 (114%)

一人当たり平均課税対象所得		
令和4年度 (2022年度)	令和11年度 (2029年度)	令和16年度 (2034年度)
2,680千円	2,753千円 (103%)	2,894千円 (108%)